

アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し 令和 4 年度 5.3%増予測

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど令和3年度のアルミニウム二次合金・同二次地金の需要見込みと、令和4年度の同需要見通しを発表しました。

令和3年度の日本経済は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さが見られました。

この様な経済環境の中で、アルミニウム合金業界においては、我が国の自動車メーカーの生産が、感染症の影響による減少から回復することにより、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が増加しており、令和3年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は、149万2800トンと対前年度比8.6%増が見込まれます

この様な状況の中で、令和4年度アルミニウム二次

合金地金・同二次地金需要見通しを次の通り策定しました。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内外の自動車生産が、半導体不足などの影響による減少から回復することが見込まれ、増加が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。

以上の状況から、令和4年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを157万1300トン(対前年度比5.3%増)と策定しました。2年連続で増加するものの、コロナ禍前の160万トン台には届かないとの見通しです。

令和 4 年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

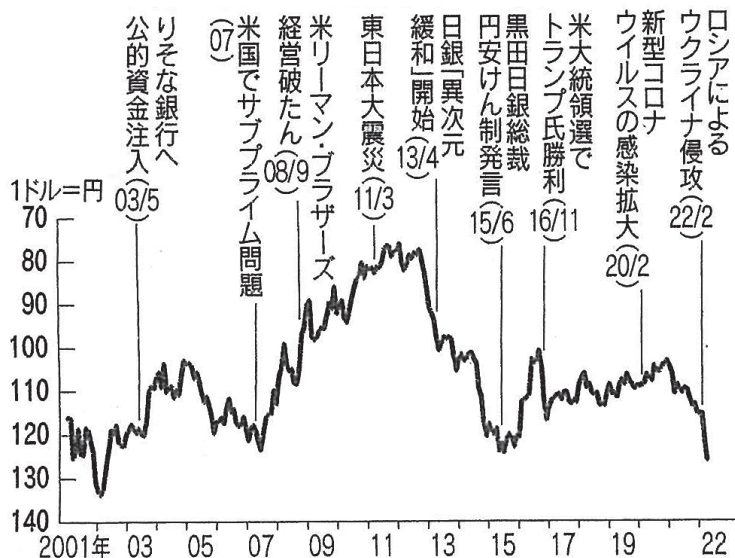
(単位：トン)

項 目	令和 2 年度	令和 3 年度実績		令和 4 年度	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鋳 物	281,027	309,400	110.1	316,100	102.2
ダ イ カ ス ト	801,202	865,200	108.0	936,300	108.2
圧 延	199,024	211,200	106.1	211,200	100.0
鉄 鋼 ・ そ の 他	93,900	107,000	114.0	107,700	100.7
計	1,375,153	1,492,800	108.6	1,571,300	105.3

(注1) 輸入地金を含む。

(注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

円対ドル、20年ぶりの安値



外国為替市場は、4月中旬に円は対ドルで127円台まで下落し、約20年ぶりの安値となりました。

米国などが金融引き締めに動き金利の上昇の勢いが増す中、金融緩和を続ける日本では低金利が続き、内外金利差が広がります。

製造業は生産拠点を徐々に海外に移してきましたので、従来ほど円安で業績を押し上げる効果は無く、逆に原油高の下での輸入物価の上昇によるマイナスの影響が懸念されます。

アルミ合金輸入量 減少 対中輸入は半減

財務省発表の貿易統計によると、2月の中国からのアルミ合金輸入量は前年同月比50%減の5,360トンで6ヶ月連続して前年同月の実績を下回りました。

国内自動車メーカーの減産で需要が減退したほか、国産に比べて割高感が強まりユーザーが買い控えたことが考えられます。

ポスト中国として、マレーシアは94%増の7,560トンで4ヶ月ぶりのプラス。インドネシアも2.3倍の1,380トンで3ヶ月ぶりにプラスに転換しました。韓国は87%減の300トン、台湾は12%減の2,000トンとともに4ヶ月連続のマイナスでした。

欧州・東欧などは、イタリアが48%減の1,560トンで8ヶ月ぶりのマイナス、スペインも15%減の3,470トンで2ヶ月ぶりの減とともに一服感が出ました。

ロシアは25%減の15,090トンで3ヶ月連続のマイナス。ウクライナは45%増の2,500トンで3ヶ月ぶりのプラスでした。戦争の長期化は様々な方面で影響が出て心配です。

2月 アルミ合金 輸入量

国名	重量(トン)	前年同月比
中国	5,360	(- 50%)
マレーシア	7,560	(+ 94%)
インド	4,170	(+ 43%)
インドネシア	1,380	(+130%)
スペイン	3,470	(- 15%)
イタリア	1,560	(- 48%)
ナイジェリア	5,480	(+ 29%)
ロシア	15,090	(- 25%)
ウクライナ	2,500	(+ 45%)
U A E	18,600	(- 15%)
その他	18,370	
合計	83,540	(- 9%)

西尾茶

矢作川の下流台地は、水はけが良く地味が肥えて茶の木の育成に最適とされています。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち手で摘みとられ高級茶に加工され、西尾茶として名高く、抹茶の生産は日本一を誇り、毎年この季節に茶葉クラブのメンバーが古式豊かな茶摘み行事を披露します。



1月生産

アルミ鋳物 ダイカスト 減少

経済産業省がこのほど発表した1月の生産動態統計によると、アルミ鋳物の生産量は前年同月比8%減の28,200トン、アルミダイカストは7%減の69,500トンでした。

鋳物は3ヶ月ぶり、ダイカストは5ヶ月連続して前年実績を下回りました。国内自動車分野で期待された挽回生産が実施されず逆に減産幅が拡大し、鋳物・ダイカストともに主力の自動車向けが低調でした。

アルミ鋳物は、主力の自動車用が9%減の26,000トンで3ヶ月ぶりのマイナス。輸送その他は5%減の690トンで1年2ヶ月ぶりにマイナスに転落。一般機械は5%増の570トンで12ヶ月連続のプラス。その他は8%増の940トンで5ヶ月連続のプラスでした。

アルミダイカストは、自動車は8%減の61,200トンで5ヶ月連続のマイナス。二輪は6%減の1,700トンで2ヶ月連続のマイナス。一般機械は3%増の2,500トン、電気機械は3%増の1,300トンで、それぞれ15ヶ月連続、12ヶ月連続のプラスでした。

1月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	28,200	(92)
② 一般機械	570	(105)
③ 輸送機械	26,690	(91)
④ その他	940	(108)
⑤アルミ・ダイカスト	69,500	(93)
⑥ 一般機械	2,500	(103)
⑦ 電気機械	1,300	(103)
⑧ 自動車	61,200	(92)
⑨ 二輪車	1,700	(94)
⑩ その他	2,700	(102)

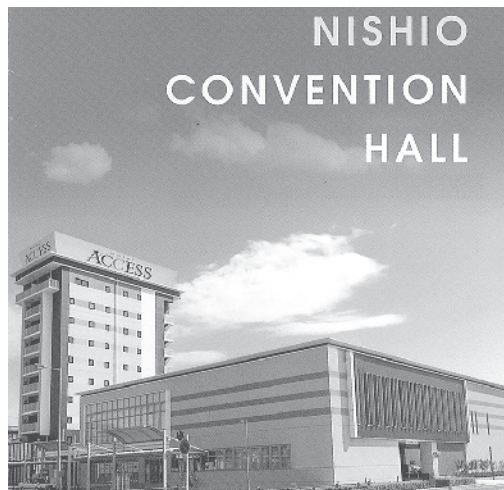
創立80周年 記念祝賀会

皆様からの永年の温かいご支援により、ここにアスカ工業株は創立80周年を迎えることができました。

これを記念して、ささやかな記念祝賀会の開催を計画しています。

尚、コロナ禍でもあり、規模を縮小し、安全対策を施しての開催に努めますのでご理解の程よろしくお願ひ致します。

- ・日時 令和4年6月18日(土) 13時～14時半
- ・場所 西尾コンベンションホール (写真)



社内情報

- ◎花壇に植えました名港海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲き、心を和ませてくれました。
- ◎4月末で決算棚卸しを行いました。原料納入業者と運送関係の皆さんに大そうご無理をお願い致しました。
- ◎おかげ様で、順調に棚卸しが終わりました。ご協力に厚く感謝申し上げます。

編集後記

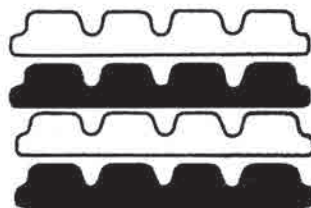
- ロシアのウクライナ侵攻から2ヶ月が過ぎました。大手調査機関の調査によると、影響の大きい業種として「非鉄金属製造業」「木材・木製品製造業」などが上がり、資源大国ロシアの存在を再認識します。
- 中国ゼロコロナ方針による主要都市ロックダウンが各産業に益々大きな影響を及ぼしそうです。
- G20財務相・中央銀行総裁会議でロシア代表も参加。角度を変えて何か議論はできないものか。

アルミ缶リサイクリング 铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。

ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)

アスカ工業株式会社



〒444-0303

愛知県西尾市中畑町卯新田上28

TEL <0563> 77-0500(代)

FAX <0563> 77-0501

<http://www.al-asuka.jp/>